

## 第 6 回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 議事概要

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 令和 5 年 8 月 4 日（金） 10:00～12:00  |
| 会 場 | 仙台市役所本庁舎 8 階 第一委員会室  |
| 議 題 | 青葉通駅前エリア将来ビジョンの検討について<br>1. 開会<br>2. 青葉通駅前エリア将来ビジョンの検討について<br>・これまでの検討状況（社会実験までの経緯）<br>・社会実験結果の振り返り<br>・今後の進め方<br>3. 意見交換<br>4. 閉会 |

|      |   |
|------|---|
| 配布資料 | ・本日の座席表<br>・協議会委員、オブザーバー名簿<br>・協議会資料<青葉通駅前エリア将来ビジョンの検討について> |
|------|---|

### ○主な意見等

#### （委員意見）

- ・協議会資料 14 ページの「(1) 来訪者の特徴、市民の意向」に関するアンケート調査結果について、「良い取組みだと思わない」と回答した方の主な理由を教えてください。
- ・協議会資料 29 ページについて、交通処理 WG という表現に違和感がある。青葉通から交通事業者を排除するといった意味合いと勘違いされるのではないか。

#### （事務局回答）

- ・「良い取組みだと思わない」と回答した方の理由で最も多かったものは交通混雑に関する内容であった。また、社会実験を行っている理由が分からないとの意見も多かった。
- ・交通処理 WG の名称は、本協議会の設立時から用いている名称である。ご発言のような意味合いではない。ただし、もし名称がそぐわないということであれば、名称の変更も検討したい。

#### （委員意見）

- ・今後、ビジョンを考える上で、他の政令指定都市の整備方針をレクチャーする勉強会を開催してもらえるとよい。
- ・今回の協議会資料は利活用がメインの構成であるため、交通処理についての今後のビジョンや考えがあればお聞かせ願いたい。

(事務局回答)

- ・他の政令指定都市の整備方針等については、今後 WG や協議会で展開させていただきたい。
- ・将来ビジョンの検討の熟度として、交通規制の内容等を具体的に落とし込むことは考えていないが、想定される将来の整備パターンに対してシミュレーション等の実施は進めていく方針である。我々としては、まず当該エリアのあり方の議論からはじめて、ある程度のビジョンが見えてから、それを実現するための交通面の方針を検討していきたいと考えている。

(委員意見)

- ・宮沢根白石線の開通等により交通の流れが変化することが考えられるため、WG や協議会で適宜それらに関するデータをお示しいただけると、参考になると思われる。

(委員意見)

- ・当該エリアのあり方について、立場により考え方は様々であると思う。一方で、イメージの共有は重要と認識している。今後の検討の進め方について、具体的なビジョンがないと目指すべきものがイメージしにくいと考える。
- ・高速バスの乗り場が西口と東口に分散していることは課題と考える。一方で、乗り場が分散していることで、人が分散することがメリットと考える人もいる。バス待ちの面や交通渋滞の面など、それぞれの案のメリット、デメリットがある。それらを踏まえ、駅前におけるより良い交通環境づくりを考えたい。
- ・我々としては、バス利用者が快適に利用でき、かつバス事業者が安全に運行できる環境を整備してほしい。バス利用者の動線や交通ネットワークを考慮した計画とするとともに、国交省で検討されているバスタの検討とも連携して進めてほしい。

(事務局回答)

- ・交通機能の再配置も含めて検討していきたい。ご意見ありがとうございます。

(委員意見)

- ・私は違う考えを持っており、人の動き方、時間の使い方、物の持ち方、日差しの防ぎ方等がどのように変わっていくかについて想定し、対策を考える必要があると考える。
- ・今の交通をどう処理するかという議論になっているが、例えば、自動運転が入ってくると、駅のスタイルが変わるかもしれない。今への対応だけではなく、将来の変化の可能性に対し、柔軟に対応できるような空間を確保しておくことも重要と考える。
- ・仙台のまちのあり方そのものが変わる可能性がある。ビジョンを固めて進めるより、様々な変化への対応方針を考えることに対する目線を合わせておくことの方が極めて重要で

ある。具体的な絵を描くことよりも、不確実性が多い時代を考えたときに、そういったことの方が求められていると考える。様々な立場から、将来想定されることについて列挙し、それらをどのように解消すべきかについて共通認識を持っておくことの方が重要である。問題解決型ではなく、今起こっていること以上に、今後のことを考えるという視点を忘れずに持っておいてほしい。

#### (事務局回答)

- ・非常に重要な視点と考える。
- ・近年は時代の移り変わりが激しく、計画を立てるのが難しい時代と認識している。
- ・今のことを考えるだけでなく、将来のことについても考える必要がある。一方で、将来だけ考えることも良くなく、バランスが重要と考える。
- ・このビジョンはいつを目指すかについてはまだ定められていない。将来の予測は難しいが、再開発やバスタといった具体的な動きがある中で、何かしら考えていく必要があると考えている。一方で、将来的な不確実性の部分はフレキシブルに考える必要があり、具体的に示す部分とフレキシブルに対応する部分は切り分けて考えたい。しっかり議論していきたい。

#### (委員意見)

- ・企業の立地動向、出勤頻度による居住地の変化、ネットショッピングの利便性の向上など、まちなかのあり方が変わってくると考えられる。そういったことに対するある程度の共通認識をこういった場で持っておいた上でビジョンを考えることが重要である。

#### (委員意見)

- ・最近であれば大宮など、他都市のビジョンの作成プロセスは気になるところである。任意で勉強会を開催したい。協議会の皆さんから、参加意向及び勉強したい都市についての意見を頂きたい。

#### (委員意見)

- ・仙台の立地を考えると、大宮の動向について知っておくことは重要。
- ・任意の勉強会について参加したい。
- ・当該エリアは仙台の顔ではなく、本来は東北の顔である。その視点が弱くなってきていると思われるため、今一度、その視点も踏まえてほしい。

以上